



日油グループ

# 企業倫理規範

バイオから宇宙まで



## Contents

# 目次

### Introduction

- 02 企業倫理規範とは
- 03 3つの価値観
- 04 社長メッセージ

### Section 1

- 05 **挑戦のために**
- 06 従業員の個性・多様性を尊重します
- 07 働きやすい職場環境を構築します

### Section 2

- 08 **公正のために**
- 09 倫理に反する行動はしません  
人権侵害をしません
- 10 不当な労働をさせません
- 11 不当な取引をしません
- 13 会社の財産・情報を不正に扱いません
- 15 反社会的行為へ関与しません

### Section 3

- 16 **調和のために**
- 17 環境・社会との共生を図ります

### Appendix

- 19 倫理・コンプライアンス推進体制
- 20 企業倫理規範を守る責任  
不正発生時の措置



# 企業倫理規範とは

日油グループが成長していくための羅針盤である経営理念体系。

その全体の基礎となるのが「企業倫理規範」です。

この規範には、正しい倫理観を持った企業の従業員として、

とるべき行動の判断基準を記しました。

バイオから宇宙まで、化学の力で新しい価値を創造する企業グループとして、

人と社会に貢献していけるよう、私たちは本規範を誠実に実践します。

## 経営理念

バイオから宇宙まで、  
化学の力で新しい価値を創造する  
企業グループとして、  
人と社会に貢献します。

## 価値観

挑戦

調和

公正

## 行動規範

1 人と社会の発展のため、最高の品質  
とサービスをグローバルに提供します。

2 総合力を発揮し、幅広い分野で新しい価値  
を創造する先端技術と製品を開発します。

5 安全や環境との調和を強く意識し、  
個々の力を結集して社会的課題を解決します。

4 多様な個性を尊重し、高い倫理観  
と良識をもって公正に行動します。

3 意欲的に挑戦し、自己の成長と充実した  
ライフスタイルの実現を目指します。

方針・宣言・  
ポリシー

企業倫理規範

## 3つの価値観

経営理念のもと、大切にしている3つの価値観を掲げています。

「挑戦」「公正」「調和」

あらゆる場面で日油グループの一員として

ふさわしい行動ができるよう、

これらの価値観を信念として貫き、

社会に向けて新たな価値を創造できる企業であり続けます。

# 調和

安全を意識し、  
地球環境と調和しながら、  
互いを尊重し、  
従業員個々の力を合わせて  
持続可能な社会と共生していくこと

協働し、刺激しあい、  
失敗を恐れず、  
環境の変化に対応し、  
従業員一人ひとりが成長を目指し、  
常に新たな領域へと挑み続けること

# 挑戦

# 公正

社会の構成員として、  
高い倫理観を持ち、  
誠実に行動し、  
価値観の多様性を受け入れる  
企業風土を築いていくこと



# Message

## 社長メッセージ



日油グループは、「バイオから宇宙まで、化学の力で新しい価値を創造する企業グループとして、人と社会に貢献します」を経営理念とし、世界が直面する多岐にわたる課題に対し、日々革新的な製品および技術の開発に取り組んでいます。

企業を取り巻く環境が急速に変化する中、私たちの行動指針では、当社グループの価値観に基づいた高い倫理観と誠実さを持って行動することが求められています。

「日油グループ企業倫理規範」は、当社グループの経営理念体系を支える基礎として位置づけられており、持続的に発展する企業グループであり続けるために、日々留意すべき倫理面での規範を示しています。「日油グループ企業倫理規範」に掲げられた各規範は、経営理念体系における価値観である「挑戦」、「公正」、「調和」と深く結びついています。これらの規範を遵守し、実践することで、当社グループの価値観が具体的な行動として具現化されます。

この規範を理解し、日々の業務に活かすことによって、社会やサプライチェーン、そして共に働く仲間からの信頼を獲得し、柔軟かつ強固な日油グループの風土と意識を醸成してまいりましょう。

2025年4月1日 代表取締役社長 沢村孝司





# 挑戦のために

「不確実が当たり前」の社会において、  
力強く成長し続ける企業グループとして  
新たな領域へ挑みます。

従業員の個性・多様性を尊重します ..... 06

働きやすい職場環境を構築します ..... 07



## 従業員の個性・多様性を尊重します

多様性を受け入れ、それぞれの挑戦を後押しします。



### 個人の尊重

- 私たちは、職務の遂行に必要なスキルを習得するための教育、経験や機会を従業員に対し公正に提供します。
- 私たちは、各人の経験、スキル、成果を踏まえ、従業員を公正に評価し処遇します。
- 私たちは、互いの発言を傾聴するとともに、さまざまな考え方、意見、思いを尊重して受け止めます。
- 私たちは、いかなる差別的言動、暴力行為、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、プライバシー侵害、誹謗・中傷等の個人の尊厳を傷つける行為を認めません。

### 多様性の尊重

- 私たちは、互いの個性、人格、価値観や意見の多様性を受け入れ、尊重します。
- 私たちは、人材の多様化を図り、互いに尊重し合いながら、能力を発揮できる職場環境を構築します。
- 多様な人材が能力を最大限に発揮し、それらを融合してより良い企業風土の構築を進めます。

### 協働の推進

- 私たちは、個々の力をあわせることの重要性を理解し、それがもたらす成果を期待して、相互の協力を惜しみません。
- 私たちは、互いの個性を尊重しながら、組織の目標達成に向けて力を結集します。

## 働きやすい職場環境を構築します

挑戦の基盤となる、心地よい環境や風土をつくります。



### 職場環境の整備

- 私たちは、労働安全衛生、健康に関する法令を遵守し、全ての従業員が心と体の健康を維持し健全に働ける職場づくりを進めます。
- 私たちは、人権とプライバシーが尊重され、全ての従業員が安心して働き活きと働ける職場環境を提供します。
- 私たちは、従業員の仕事と組織に対するさまざまな意見や認識を踏まえ、より働きやすい職場となるよう施策を講じ、エンゲージメントの向上を図ります。

### ワークライフバランス

- 私たちは、仕事と仕事以外の生活の調和を重視し、生き活きと働ける職場環境の整備を進めます。
- 私たちは、多様な働き方を柔軟に受け入れるとともに、各種制度の拡充を図り、ワークライフバランスを推進します。
- 私たちは、積極的に健康の保持・増進に取り組み、心身の健康を増進する職場づくりを進めます。

### 労働安全衛生

- 私たちは、労働安全衛生関連法令や、就業規則をはじめとする職場のルール、安全に関する手順を遵守し、教育・訓練に積極的に取り組みます。
- 私たちは、事故や疾病が発生した場合には、直ちに報告するとともに、被害拡大防止、再発防止策の立案等、適切に対応します。
- 私たちは、職場に潜むリスクを発見し展開することで、相互に協力できる安全な職場づくりを推進します。





# 公正のために

誠実で清廉な事業活動を行い、  
社会に貢献する企業グループとして  
正道を歩みます。

倫理に反する行動はしません	09
人権侵害をしません	09
不当な労働をさせません	10
不当な取引をしません	11
会社の財産・情報を不正に扱いません	13
反社会的行為へ関与しません	15

## 倫理に反する行動はしません

全員が日油グループの一員であることを認識し、  
いかなるときも公正に判断します。



### 企業人としての倫理の確立

- 私たちは、全ての従業員が良心と誠意に基づき、企業倫理を重視して誠実に業務を遂行することで、さらに社会的信用を高めるよう行動します。
- 私たちは、本規範に定める事項を自らが率先して誠実に遵守し、徹底してその姿勢を組織内に展開します。

### 法令および規則の遵守

- 私たちは、会社の存続のため、全員がコンプライアンス推進の責任を有するという自覚を持ち、本規範、関連法令、社内規則を遵守します。
- 私たちは、社会規範、業務に関連する各種法令や規則、社内規則を遵守します。
- 私たちは、コンプライアンスを犠牲にして、利益や業務効率を追求しません。

## 人権侵害をしません

社会に生きる全ての人に対して、公正な関係を築きます。



### 人権の尊重

- 私たちは、世界人権宣言等の人権に関する国際規範、各国・地域の法令・規則を支持・理解し、常に人権を尊重した行動を心掛け、いかなる人権侵害も行いません。
- 私たちは、事業活動のあらゆる場面において人権を尊重し、児童労働、強制労働、奴隷労働、人身売買を一切認めません。
- 私たちは、雇用や処遇において、人種・民族、国籍、性別、宗教・信条、出身地、社会的身分、性自認・性的指向、身体的特徴、障がい等による差別を一切認めません。
- 私たちは、結社の自由、労働者の団結権、団体交渉権をはじめとする労働基本権を尊重します。

## 不当な労働をさせません

### ハラスメントの禁止

- 私たちは、従業員をはじめとする全てのステークホルダーの人権を尊重し、ハラスメント、誹謗・中傷、暴力、威圧的態度による相手の人格を無視した行為を一切許しません。
- 私たちは、自身の言動が相手、周囲にどのように受け取られるかを常に意識し、適切に対応します。
- 私たちは、ハラスメントや差別を目にした場合、関わりを避けたり見て見ぬふりをしたりすることなく指摘し、解決につなげるために行動します。

公正を期したルールのもと、適切に労働を管理します。



### 労働時間管理・適切な賃金

- 私たちは、賃金その他の給与や労働時間・休憩・休日について、関連法令・社内規則に従い、適切な管理・運用に努めます。
- 私たちは、労働時間について、正確に申請、記録します。
- 私たちは、申告された就業報告に対し、労働関連法令、就業規則に基づいて、適切な賃金・手当を支払います。



## 不当な取引をしません

サプライチェーンにおいて、全てのステークホルダーと公正に取引します。



### 取引先・協力先との関係

- 私たちは、全ての取引先・協力先は大切なパートナーであるとの考えに立ち、誠実に対応し、互いに成長することを目指します。
- 私たちは、全ての取引先と常に対等・公正な立場で接し、関連法令および契約に従って誠実な取引を行います。
- 私たちは、取引先に対し、不当な不利益を及ぼすことや、不正な利益や便宜の供与を受けることは行いません。

### 競争法（独占禁止法等）の遵守

- 私たちは、公正かつ自由な競争の維持・促進を通じて、経済の発展に寄与します。

- 私たちは、競争法（独占禁止法等）を遵守し、談合やカルテル行為による不当な利益を一切獲得しません。同業者間で、談合やカルテルにつながるような情報交換を行いません。

### 不正な競争の回避

- 私たちは、他社の著名な商品名や営業上の表示、原産地、品質等について混同・誤認を生じさせるような不適切な表示は行いません。
- 私たちは、他社の企業秘密を不正な手段により取得、使用、開示しません。
- 私たちは、競争関係にある他社の信用を害する虚偽の内容を、第三者に伝達したり、世間に広めたりしません。

### 適切な調達活動

- 私たちは、取引先との間で、公平・公正な取引を通じ、相互にとって有益な関係を築きます。
- 私たちは、サプライチェーン全体にわたって、国際規範、法令・社会通念の遵守、人権、労働安全衛生、環境保全等の活動を通じ、健全な発展につなげます。

## 安全保障管理

- 私たちは、自社の製品・技術・情報が国際社会の平和と安全の脅威となる国や地域、組織に渡ることのないよう、関連法令、社内規則・手続きを遵守し、適切な輸出管理を行います。
- 適切な輸出入管理を推進するために、常に関連法令情報や国際情勢の変化を踏まえて管理方法をアップデートし、社内でも共有します。

## 腐敗防止・贈収賄の禁止

- 私たちは、事業活動を行う全ての国・地域において、贈収賄行為、過剰な接待やこれに類する不適切な金銭・物品の授受を一切行いません。
- 私たちは、取引活動において、不当な便宜を獲得する目的での贈答や接待を行いません。仮にこのような要求を受けた場合には、毅然と拒絶します。
- 私たちは、贈答や接待の際、合理的な金額の範囲内で行い、社内規則に従い申請し、承認を得たうえで、全ての支出を正確に記録・報告します。

## インサイダー取引の禁止

- 私たちは、未公開情報が漏えいしないよう、社内での情報の取り扱いについて、厳格な管理を徹底します。
- 私たちは、未公開情報を利用した有価証券の取引を行いません。

## マネーロンダリングの禁止

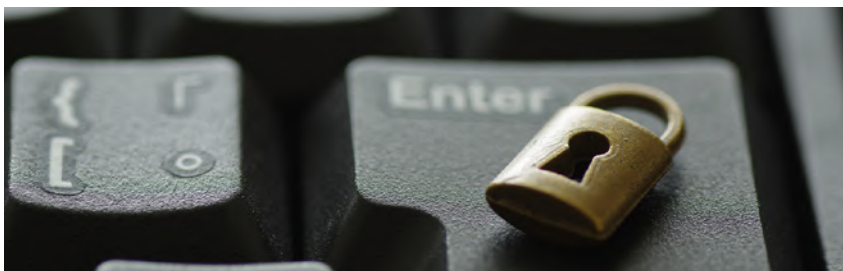
- 私たちは、不明朗な金銭の授受や保管、正当な取引を偽装した金銭の移動等、マネーロンダリングが疑われる取引への警戒を怠りません。
- 私たちは、万一、不審な取引を知った場合、速やかに関連部門と共有し、適切な措置を講じます。

## 寄付金・政治活動

- 私たちは、次世代人材育成、障がい者支援、地球環境保全、災害支援等の目的を主体に、広く社会貢献のための寄付や支援活動に積極的に取り組みます。
- 私たちは、不正に便宜を獲得する目的での寄付、協賛は一切行いません。
- 私たちは、政治献金を行う場合は、法令および社内規則に従いその必要性、妥当性を十分に検討し、適切に判断します。

## 会社の財産・情報を不正に扱いません

所有する財産・情報の取り扱いにおいて、公正を期して判断します。



### ステークホルダーの尊重

- 私たちは、事業活動を行う国・地域の法令および社内規則に従い、株主をはじめとするステークホルダーに対して、財務内容、事業活動状況等の経営情報を適切に開示します。
- 私たちは、株主・機関投資家、顧客・取引先、従業員、地域社会等さまざまなステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを図り、信頼関係の向上を推進します。
- 私たちは、経営の透明性、社会への説明責任を果たすため、財務状況の他、CSR活動等の非財務状況を適切なタイミングで開示します。

### 会社と個人の利益相反

- 私たちは、自らまたは第三者が利益を得るために、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を害する行為を行いません。
- 私たちは、当社との取引において、個人の立場で介在や、業務上知り得た情報を利用して個人的利益を得ることは行いません。

### 会社財産の取り扱い

- 私たちは、有形・無形にかかわらず全ての会社財産の横領、乱用、流用、盗難、紛失を防止するために注意を払い、個人的な利用や業務目的以外の利用は行いません。
- 私たちは、機密情報やデータ、ITシステム等の資産を、外部からの攻撃のリスクから保護するために必要な方法を確認し、確実に実施します。
- 私たちは、私生活においても各国・地域の法令、社会常識から逸脱した行動をとらず、また会社の信用・名誉を傷つける行為や損害を及ぼす行為を行いません。
- 私たちは、在職中のみならず退職後も、これらの資産について不正に利用しません。



## 正確な記録と報告

- 私たちは、事業活動に関わる必要な情報を正確に記録し、適切な期間において遅滞なく報告します。
- 私たちは、財務・会計に関する記録・報告の他、関連法令および社内規則に基づき、必要な記録・報告を正確に実施し、適切に保管します。
- 私たちは、仕入れ、販売、経費の使用をはじめとする事業活動に関わる取引について、法令、会計基準、社内規則に則り適切に行います。

## 知的財産権の保護

- 私たちは、第三者の知的財産権を尊重し、不正利用や侵害行為を行いません。
- 私たちは、第三者の権利を侵害しないように当社製品との関係を事前に十分な調査を行い、場合により回避、ライセンス取得等の必要な措置を講じます。
- 私たちは、事業活動の成果である知的財産権を適切に保護・管理し、事業における有効活用を推進します。

## 機密情報漏えいの禁止

- 私たちは、取得した経営上の機密情報を関連法令や社内規則に従い、厳密に管理します。
- 私たちは、他社の企業機密について、第三者からの不正な手段での入手や、不正利用を行いません。
- 私たちは、情報システムの利用・取り扱いにおいて、社内規則に従うとともに、必要な教育・訓練により、常に高いセキュリティ意識を醸成します。
- 私たちは、情報システムの利用・取り扱いにおいて、企業秘密を含む会社資産を漏えいさせず、公序良俗・社会秩序に反する利用は行いません。
- 私たちは、入手した企業秘密について、在職中はもちろん退職後においても使用または開示しません。

## 個人情報取り扱い

- 私たちは、関連法令、社内規則に従い、個人情報を厳密に管理するとともに、適切に利用します。
- 私たちは、個人情報を取得する際、関連法令や社内規則に従って収集、利用、保持するとともに、不正アクセス、漏えい、紛失および改ざんを防止するための安全対策を講じます。
- 私たちは、入手した個人情報について、在職中はもちろん退職後においても使用または開示しません。

## メディア・広報活動

- 私たちは、幅広いステークホルダーに対し、関連法令や情報公開に関する原則に基づき、必要な情報を適時適切に提供します。
- 私たちは、裏付けのある情報を会社の承認を得たうえで開示します。ソーシャルメディア上に、社内情報や会社の評判を損なうような発言は行いません。
- 私たちは、情報開示において、従業員やビジネスパートナーの機密情報を保護します。

## 反社会的行為へ関与しません

社会の秩序や公正さを乱す行為を拒み、誠実に事業活動を遂行します。



## 反社会的勢力の排除

- 私たちは、社会的秩序の維持に努め、反社会的勢力とは一切関係を持たず、取引や活動を助長する行為を決して行いません。
- 私たちは、反社会的勢力から要求を受けた場合、毅然とした態度で拒絶し、利益供与を一切行いません。
- 私たちは、取引先が反社会的勢力でないことや、反社会的勢力であった場合の措置に関して、明確に記した契約を取り交わします。



# 調和のために

持続可能な社会実現に  
貢献する企業グループとして、  
環境と社会との共生を図ります。

環境・社会との共生を図ります…………… 17



## 環境・社会との共生を図ります

全方位的に健全な経営を行い、社会と調和する企業であり続けます。



### 環境保全

- 私たちは、環境保全に関する法令を遵守するとともに、国際的な環境基準、国や業界団体が主導する目標を念頭に、環境負荷の低減に努めます。
- 私たちは、エネルギーや資源の消費、廃棄物の発生を減らすとともに、再利用・リサイクルを促進します。
- 私たちは、化学物質の適切な使用・管理に努め、自然環境への放出を最小限にします。万一、環境に影響を及ぼす問題が発生した場合は、影響の拡大防止措置を講ずるとともに、再発防止に努めます。
- 私たちは、地球環境および生物多様性の重要性を理解し、自主的かつ積極的に環境保全活動に取り組み、自然との共生を図ります。

### 製品安全と品質の確保

- 私たちは、高い品質と安全性を有した製品を、法令・社内規格に定める基準に照らし、顧客と取り交わした仕様を確実に満足させる状態で提供することで、顧客の期待と信頼に応えます。
- 私たちは、製品が安全・適切に使用されるよう、関連法令や社内基準に基づいた適切な方法により、注意喚起・警告表示・取り扱い説明を提供します。
- 私たちは、設計・開発段階においては関連法令・業界基準・顧客の要求を明確にし、生産工程においては製品の品質・安全性を確保する手順を遵守します。
- 私たちは、品質データを顧客との仕様どおりの方法で測定し、適切に保管・確認するとともに、顧客の要望の方法にて提供します。
- 私たちは、万一、製品の品質・安全性に問題が生じた場合は、迅速に事実確認を行うとともに、適切な是正措置を講じて被害の拡大や再発防止に努めます。

## 社会への貢献

- 私たちは、従業員の生活と安全操業の継続を通じて、地域社会との密接な関わり的重要性を認識し、地域社会からの支持と信頼を獲得します。
- 私たちは、地域・社会貢献活動の取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーとの信頼、期待に応えます。
- 私たちは、「良き企業市民」として、持続可能な未来を実現するために、環境保護や地域支援、社会的課題の解決に取り組みます。

## 慣習の尊重

- 私たちは、国際規範の他、事業活動を行う各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重します。ある国・地域で許容される行為が、他の国・地域では許容されない場合もあることを認識します。

## 倫理・コンプライアンス推進体制

倫理ある行動を保つだけでなく、  
社会の変化に応じた規範の強化に努めます。

### 倫理・コンプライアンス委員会の設置

日油グループ各社は、倫理委員会またはコンプライアンス委員会を設置しています。当委員会は、企業倫理規範の徹底と本規範に違反する行為に関する審議や対応策の検討を行います。また、社会環境の変化に応じ、時代の要請に対応した規範へと適宜見直します。



### 内部通報・ハラスメント相談窓口

本規範に違反または違反の恐れがある行為を知った場合に、通報・相談できる窓口を社内外に設けています。通報者や通報の協力者は、通報・調査協力を理由とした報復行為・不利益な取り扱いを受けることはありません。



### 倫理・コンプライアンスの教育活動

日油グループ各社は、適切な機会、方法を通じて企業倫理規範の従業員全員への周知徹底を図り、本規範制定の趣旨や遵守の重要性を継続して伝えます。





## 企業倫理規範を守る責任

全従業員が「企業倫理規範」の意義を理解し、日油グループの一員として責務を果たします。

- 私たち全従業員は、当社の価値観、本規範に記載の事項を誠実に遵守し、社会倫理にかなった判断を基に行動します。また役員・管理職の地位にある従業員は、自らが率先垂範することで組織内への徹底を図るとともに、管理下の従業員を指導・監督します。
- 私たちは、倫理・コンプライアンスの徹底が会社存続のための礎であることを深く意識し、自身の業務を遂行します。



## 不正発生時の措置

万一、不正行為が生じた場合、しかるべき措置をとります。

### 措置

- 法令、各種規範、社内規則および本規範に違反する不正な行為を行った場合、関連法令や社内規則に基づき、懲戒処分の対象となる場合があります。

### 判断基準

- 自分のとるべき判断・行動に迷い、不安が生じた場合は、以下の基準に照らして考えてください。
  1. 法令、日油グループの価値観、本規範に反していませんか
  2. 十分に情報を収集し、相当の注意を払いましたか
  3. 家族や友人に胸を張って説明できますか
  4. 「少しだけだから」「会社のためだから」「昔から行ってきた」等の言い訳をして良心をごまかしていませんか
- 日油グループの価値観、本規範、自己の職業倫理に反すると感じたことは絶対に行わない、勇気をもって反対する、という心構えで仕事を進めてください。不適切な状態に気付いたり、見かけたりしたときには、関わりを避けるとか見て見ぬふりをするような行為を決して行ってはなりません。



発行: 2025年4月